

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 孔子の精神の発達史 伊與田 覺 (論語普及会学監)

1. 「論語の為政第二に、孔子の大変有名な言葉があります。「吾十有五にして学に志し、三十にして立ち、四十にして惑わず、五十にして天命を知り、六十にして耳順い、七十にして心の欲する所に従えども、矩を踰えず」。これは孔子の精神の発達史といえましょう。孔子は、父親が早く亡くなったため母親の手で育てられ、十有五にして学に志しました。学に志すとは、立派な人物になろうと志すことです。
2. 孔子は、あらゆる人から貪欲に真理を聞き出し、学びを深めていきました。その学識が知れ渡り、人に教えることによって身を立ててゆこうと決意しました。それが三十にして立つということです。その後、様々な葛藤を乗り越え、四十にして惑わなくなったのです。孔子自身三省を繰り返し、いかにすれば過ちを少なくすることができるかと研鑽を重ね、五十にして天命を知りました。それからは天と交流できるようになり、人に見えざるものが見え、聞こえざる声が聞こえてくるようになったといえます。
3. しかし孔子は、そこで思い上がることなく、ますます謙虚に学び続け、六十にして耳順う境地に到りました。常に反省し、自分は他人と少しも変わらない。いたらない人間だと学んだ結果、七十にして心の欲するところから従えども矩を踰えず、すなわち、自分の思うままに振る舞っても過ちを犯すことの少ない人生に、ようやく到達することができたのです。

(参考:「致知」2010年5月号)

## ワンポイント経営アドバイス

### トップたる物、自ら得意とするものを行う (P. F. ドラッカー)

1. ジャック・ウェルチはGEのCEOへの就任が決まったとき、すぐにカルフォルニアに飛んでドラッカーに会った。2人の会話から生まれた経営戦略が、あの有名な選択と集中の戦略、「一位二位戦略」だった。GEにとってなされるべきことは、世界で一位二位になる価値のない事業から手を引くことだった。
2. GEにとってなされるべきことをいくつか考えた後、自らが得意とするものはどれかを考えた。得意でないものはトップマネジメント・チームの誰かに任せた。「トップたる者は、自らが得意とするものに集中しなければならない。トップが成果を上げれば、組織が成果を上げ、トップが成果を上げられなければ、組織も成果を上げられないからである」。

(参考:「週刊ダイヤモンド」:2010年1月23日号)

## 人事・労務について

### 会社で自分の居心地をよくする

#### 長谷川 克次 (名南製作所取締役相談役)

1. 社員に言っていることは、「会社のためでなく、自分のために働け」ということです。人間には三大本能があります。自分を守る、家族を守る、集団を守る、の三つです。この三つが満たされないと人間は苦しくなります。私たちの場合、集団は名南製作所です。名南を「自分の集団」と感じられるよう、名南での居心地がよくなるよう、どうぞ自分のために働いてくださいと言っているのです。
2. 名南には同僚や後輩に教えようという社員がたくさんいます。自分の居心地をよくしようと、他人に教えているのです。それがいいのです。矛盾だらけの人生にあって、その三大本能のバランスがとれるよう、名南は模索を続けています。

(参考:「週刊東洋経済」2010年1月30日号)

## 古典に学ぶ

### 真の面目

「今、この真面目という字を、真という字の次に、“の”の字を一つ加えてみたらどんなものでしょう。言うまでもなく真の面目と読まねばならぬこととなります。ところがこうなると、一つの新たなる展開となりましょう。すなわち真面目ということの真の意味は、自分の“真の面目”を発揮するということなのです」

(参考:森 信三「修身教授録抄」:報知出版社)